

平成31年度 個別がん検診のご案内

[実施期間] 5月1日(水・祝)～平成32年2月29日(土)

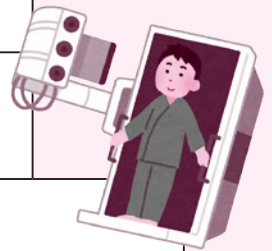
平成31年度集団検診の日程
平成31年度の集団検診(乳がん・子宮頸がん・30代のヘルスチェック)の日程は決まり次第広報あさか・市ホームページ等でお知らせします。

☎健康づくり課 ☎465-8611

市では医療機関と協定して各種個別がん検診を実施しています。市が実施するがん検診は、個人が実費で受ける場合と比べて約1割の費用で受診できます。この機会に受診し、ご自身の健康管理にお役立てください。

がんは日本人の死因第1位ですが、早期発見・早期治療で生存率が高まります。早期のがんは自覚症状がほとんどありません。症状がなくても定期的ながん検診を受けることが大切です。自覚症状のある人は検診ではなく、すぐに医療機関を受診しましょう。

対象	受診日当日に対象年齢以上で朝霞市に住民登録のある方 ※勤務先等で検診を受ける機会のある方はそちらで受診してください。
受診方法	協定医療機関に直接お申し込みください(医療機関によっては要予約)。 →朝霞市の〇〇がん検診を受診したい旨を医療機関に伝えてください。 持ち物/住所および本人確認ができるもの(免許証、健康保険証等)



※生活保護受給者の方は無料で受診できます(生活保護受給証をお持ちください)。
 ※実施期間中に、同一種類のがん検診を2回(以上)受診されると**全額自己負担**になります。
 →個別検診(協定医療機関)と集団検診(保健センター)を組み合わせることは可能ですが、**個別と集団で同一種類のがん検診を受診することはできません**。
 ※検診後の医療行為、再検査、精密検査等にかかる費用は**全額自己負担(保険適用)**です。
 ※記載されている内容以外でも、当日の体調や問診により検診を受診できない場合がありますので、ご了承ください。

検診名	対象年齢	費用	検診内容・注意事項
胃がん	30歳以上	1,000円	問診、胃部X線検査(バリウム)または胃内視鏡検査 胃部X線検査(バリウム)または胃内視鏡検査どちらか一方を選択できます。両方受診することはできません。 〈胃部X線検査(バリウム)が対象外となる方〉 現在胃がんで治療中の方、胃や十二指腸等、消化器の疾患で治療中または医療機関で経過観察中の方、消化管の閉塞またはその疑いがある方、過去にバリウムを服用し過敏症状などを起こしたことがある方、植え込み型心臓ペースメーカを装着している方、妊娠中または妊娠の可能性のある方、検診前3日間排便がない方 〈胃内視鏡検査が対象外となる方〉 現在胃がんで治療中の方、胃や十二指腸等、消化器の疾患で治療中または医療機関で経過観察中の方、抗凝固薬、抗血栓薬服用中の方、妊娠中または妊娠の可能性のある方、高度の呼吸循環障害がある方
肺がん(結核)	30歳以上	※200円	問診、胸部X線検査 ※問診の結果、医師が必要と認めた方のみ「 喀痰細胞診検査 」実施。実施した場合の検診費用は500円。オプションで実施した場合は全額自己負担。 〈対象外となる方〉 現在肺がんで治療中の方、肺の疾患で治療中または医療機関で経過観察中の方、妊娠中または妊娠の可能性のある方
大腸がん	30歳以上	300円	問診、便潜血検査(2日法) ※2日分の便を採取します。 〈対象外となる方〉 現在大腸がんで治療中の方、大腸の疾患で治療中または医療機関で経過観察中の方、検便日に生理中の方、出血を伴う痔がある方
前立腺がん(男性)	55歳以上	300円	問診、血液検査(PSA) 〈対象外となる方〉 現在前立腺がんで治療中の方、前立腺の疾患で治療中または医療機関で経過観察中の方、治療等によりすでに前立腺をすべて摘出されている方
乳がん(女性)	30代 50歳以上	700円	問診、視触診、マンモグラフィ(乳房X線検査) マンモグラフィは、40代は2方向撮影、それ以外の年齢は1方向撮影。 〈対象外となる方〉 現在乳がんで治療中の方、乳房の疾患で治療中もしくは経過観察中の方、妊娠中または妊娠の可能性のある方、授乳中または授乳終了後6か月未満の方、豊胸手術をされている方、しこり等の自覚症状がある方
	40代	900円	
子宮頸がん(女性)	20歳以上	※600円	問診、視診、内診、頸部細胞診 ※問診の結果、医師が必要と認めた方のみ「 体部細胞診 」実施。実施した場合の検診費用は1,000円。オプションで実施した場合は全額自己負担。 〈対象外となる方〉 現在子宮頸がんで治療中または医療機関で経過観察中の方、妊娠中または妊娠の可能性のある方、生理中の方、治療等によりすでに子宮をすべて摘出されている方

生活習慣からがん予防!

がんは生活習慣の見直しから予防できることが研究結果によりわかっています。たばこを吸わない、節度のある飲酒、バランスのとれた食事、適度な運動、適切な体重の維持などストレスにならない範囲で工夫しましょう。